

1号機 タービン建屋地下1階における海水の漏えいについて

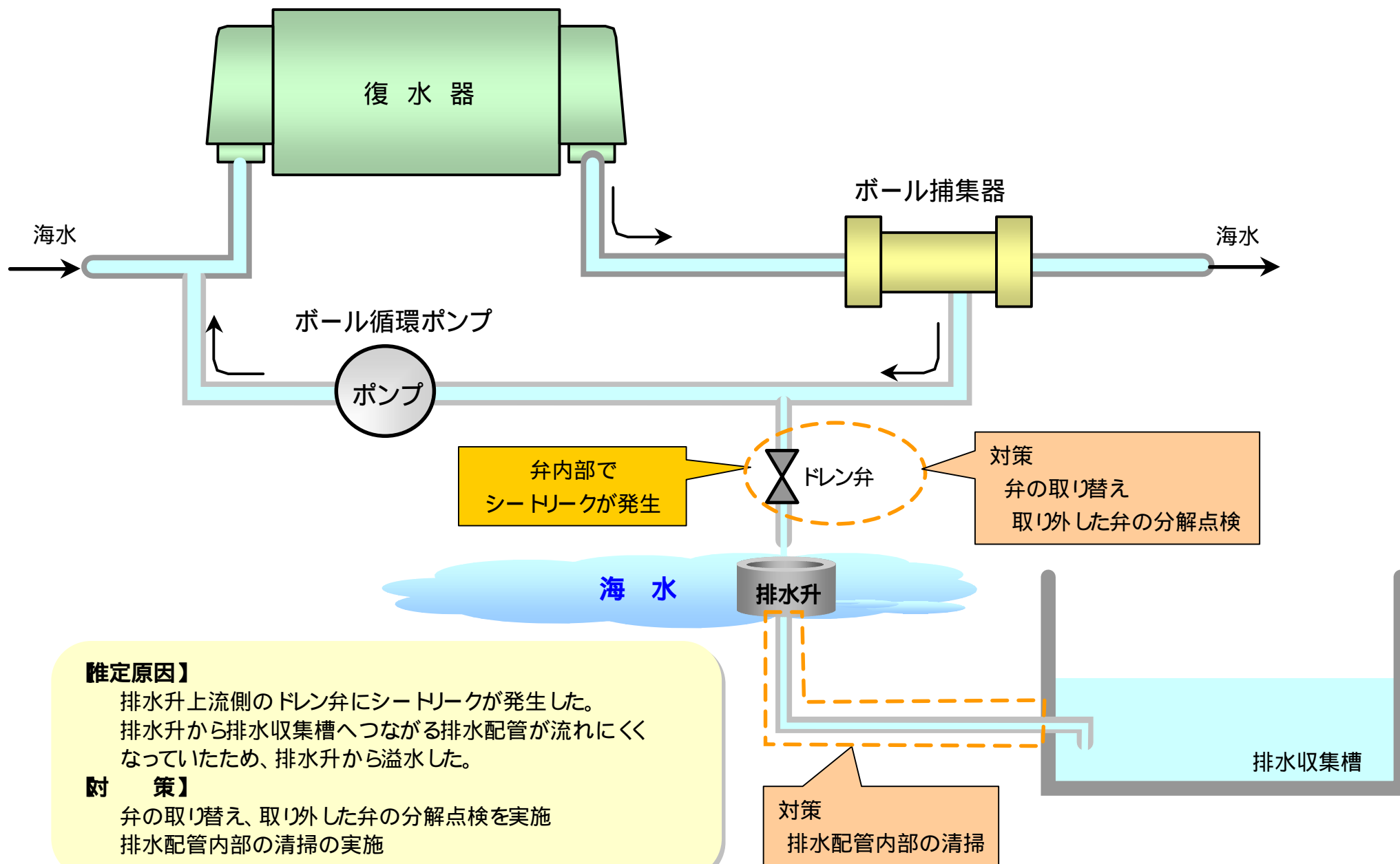
平成18年11月21日

発生号機	1号機(定期検査中) 沸騰水型、定格電気出力54万キロワット
発生年月日	平成18年11月20日
発生時の状況	午後2時50分頃、タービン建屋地下1階復水器室(放射線管理区域)で協力会社社員が水たまりを発見しました。(約2千 ^{リットル} 、約20m×約10m×約1cm) 現場の状況を確認したところ、同室内の復水器洗浄装置(1)(停止中)の排水が流れ込む排水升(2)から、海水があふれていることを確認しました。 排水升上流側の弁が閉弁状態であったにもかかわらず、排水升への流れがあったことから、弁の増し締めを実施しました。その結果、排水量が減少し、排水升からの溢水が停止しました。
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。
推定原因	増し締め後も排水があったことから、当該弁にシートリーク(3)が発生したこと、および、流れ込んだ排水を処理できていないことから排水升から排水収集槽(4)へつながる排水配管が流れにくくなっていたことが原因と推定されます。
対策	弁の取り替え、および排水配管内部の清掃を実施します。 また、取り外した弁の分解点検を実施し、シートリークが発生した原因を調査します。
お知らせ基準	表2-10に該当します。

- 1 復水器洗浄装置とは復水器の細管内部にスポンジボールを流して清掃する装置です。
- 2 排水升は機器や床からの排水が流れ込む升です。
- 3 シートリークとは、弁の密閉性の低下による弁内部の漏えいです。
- 4 排水収集槽は排水升に流れ込んだ排水を回収する槽です。

以上

復水器洗浄装置 概要図



【推定原因】

排水升上流側のドレン弁にシートリークが発生した。
排水升から排水収集槽へつながる排水配管が流れにくくなっていたため、排水升から溢水した。

【対策】

弁の取り替え、取り外した弁の分解点検を実施
排水配管内部の清掃の実施